

栄養吸収能力を高める方法

人間の体で栄養を吸収するところは小腸です。小腸には絨毛や微絨毛という突起があり、ここで栄養を吸収しています。絨毛は、小腸の壁にあるじゅうたんの毛のように小さな突起のことで、微絨毛とは、もっと小さな透明の突起のことで、微絨毛は800倍の顕微鏡でなければ見ることはできません。

植物で、人間の絨毛や微絨毛に相当する部分は、根の細根や根毛です。健康な植物の根を顕微鏡で200から400倍に拡大して見ると、細根の表面に透明な根毛が見えます。そして**健康な細根や根毛は、必要な栄養は吸収し、いらぬものは吸収しないようにできています。これを根の「選択吸収」といいます。**

ところが植物のミネラルバランスが悪くなると根毛の発生率が非常に悪くなり、選択吸収能力が落ちてしまいます。これが作物や樹木の成長を妨げたり、病害虫を起こしたりする原因になるのです。人間も、ミネラルバランスが悪いと、絨毛や微絨毛の働きが障害され、アレルギーという体に都合の悪いものまで侵入してくると考えられます。反対に、ミネラルバランスが良いと、良い栄養素だけを取り込み、悪いアレルギーは寄せ付けないという力が働くと考えられるのです。

植物は、肥料の与え方で根がどのように成長するかよく分かります。

①過剰に肥料を与えると、肥料の濃度が高すぎるため、根は伸びるのをやめ、細胞壁は褐色に変わります。

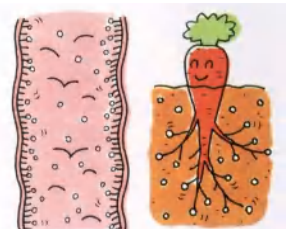
細根や根毛の発生は少ないので、栄養の選択吸収ができず、奇形の葉が出ています。花は小さく奇形です。

②適量施肥の場合は、細根・根毛が適量に出て、葉も正常に出ています。根もほどほどに伸びています。

③無肥料では、栄養が足りません。そこで、根は栄養をさがして異常に伸びています。細根や根毛が多量に出ていますが、栄養が足りないため、芽や葉はあまり大きくなく、また弱くなります。このような不足している状態に少しずつ栄養を与えてやると、乾燥にも、冷害にも、長雨にも強い作物ができます。

「過剰に肥料を与える」ことは、人間では**食べ過ぎ飲み過ぎ**です。人間が添加物や脂肪ばかりをたくさん食べて、野菜や海藻、雑穀といった繊維質やミネラルが足りない状態に似ています。このような人間は便秘がちであり、小腸の壁には絨毛や微絨毛が十分発生していません。反対に、脂肪をひかえ、腹七分目に野菜と玄米でビタミン、ミネラル、食物繊維を十分とると、小腸の選択吸収能力も高まります。

大阪八尾市の医学博士甲田光雄さんは、患者さんに繰り返し断食を指導し、無農薬有機ミネラル栽培の生玄米粉と青汁を飲んでもらって、ガン、糖尿病、リウマチ、膠原病、慢性疲労症候群など現代西洋医学であまり治癒が期待できないような難病をたくさん治してこられました。甲田先生は断食という方法で腸の絨毛・微絨毛を活性化して選択吸収能力を高め、人体に不都合なアレルギーを吸収させず、病気を治しておられるのだと思います。



腸と根ははたらきがそっくり!

「食べもので若返り、元気で百歳」中嶋 常允先生 著

1、病気(癌など)だからこうなった (悪い結果に……)

2、病気でもこうなった (良い結果に……)

3、病気だからこそこうなった (生への気づき……)

1はあきらめの結果 2は養生の結果 3は生命への気づきの結果

1から2へのアドバイスはできますが、3は本人次第

(ひらの薬局 岡田 洋 先生)

「感動を売る」 ((株) 山水 中村 英隆 社長)

昨年、多くの人からたくさんのエネルギーをいただきました。

いただいたものの種を蒔き、実になるよう、頑張っていきたいと思ひます。

……今年もよろしくお願ひいたします。……